

(臨床研究に関する公開情報)

岡崎市民病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 岡崎市民病院歯科口腔外科における顎顔面外傷の後方視的検討

[研究責任者] 歯科口腔外科 寺沢史誉

[研究の背景]

口腔・顎を含む顔面の外傷（以下、顎顔面外傷）は、生活様式の多様化、スポーツの隆盛、交通事情の多様化、労働環境の多様化などに伴ってその受傷原因がさまざまです。また、歯が折れたり、抜けたりするのみならず、口腔・顎・顔面の軟組織や、重症なものになると骨折までさまざまな受傷様式をとります。この領域の機能の一つには口をあける、ものを咬む、話をするなどが挙げられ、受傷により程度は様々ですがその機能が損なわれることが少なくありません。また、身体の他の部位と比較して、美容的観点がとくに要求される部位でもあることから、その治療にはこれらの重要な要素をいかに改善してゆかが求められ、マニュアルに乗っ取った定型的な診断と治療がなされることは極めて少ないとされています。すなわち、顎顔面外傷の治療にはそれぞれの患者さんの特性にあわせた適切かつ綿密な治療ならびに結果が要求されます。また、治療によって得られた結果は患者さんと医療者の間でその満足度に差が生じることもしばしばである。そのためその治療目標や治療のゴールが個々の患者によって異なってきます。今回の調査では、当科が関与した顎顔面外傷の患者さんに対して行われたこれまでの治療内容や経過、予後を振り返り、その特徴を分析することにより、今後当科にて行われるであろう顎顔面外傷の患者さんにおける治療の質や予後の改善・向上にむけた方策について検討をしてゆきます。

[研究の目的]

歯科口腔外科における顎顔面外傷の患者さんに対する治療の質や予後の改善・向上を図るための検討をするため。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

西暦2010年4月1日から西暦2020年3月31日までに岡崎市民病院歯科口腔外科で診察した顎顔面外傷受傷の患者さんのうち、以下の「選択基準」をすべて満たし、かつ「除外基準」のいずれにも該当しない患者さん。

「選択基準」

- ① 臨床的に顎（口腔を含む）顔面外傷と診断された患者さんであって、受傷部位として

歯、口腔顎顔面軟組織の損傷および顎顔面骨を含む硬組織の損傷いずれか、もしくは重複して有する患者さん。

② 複数の診療科が担当した多発外傷患者の場合、歯科口腔外科が診察した患者さん。

#### 「除外基準」

- ① 歯科口腔外科以外の科で診断、治療された患者さん。
- ② 歯科口腔外科にての診察をしていない患者さん。
- ③ その他、研究責任者が研究対象者として不適当と判断した患者さん。

●研究期間：西暦 2020 年 4 月 1 日から西暦 2022 年 3 月 31 日

●利用する検体、カルテ情報

検体：とくにありません。

カルテ情報：臨床所見（年齢、性別、身長、体重、職業、受傷機転、受傷部位、病歴に関する情報、画像情報）治療期間・内容（受傷から初期治療までに要した時間・期間、初期治療の種類、手術の有無、手術を行った時期、術後治療の有無、術後治療の種類、術後治療に要した期間、総合的な治療期間）。

●検体や情報の管理

情報は、当院のみで利用します。

#### [研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

#### [個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学術的な報告の場（学会、研究会や論文など）で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

#### [問い合わせ先]

岡崎市民病院

444-8553 愛知県岡崎市高隆寺町字五所合3番地1

歯科口腔外科 寺沢史誉

電話 0564-21-8111 FAX 0564-25-2913